

報道機関 各位

～小倉南区制50周年記念事業～
第50回小倉南区子どもまつり
小倉南区かるた大会への参加団体を募集します！

小倉南区では、子どもたちの健やかな成長を目的として、地域を挙げて「小倉南区子どもまつり」を実施しております。今年の子どものまつりは、50回の節目であるとともに、小倉南区制50周年記念事業の一環として下記の日程で実施いたします。

今回、記念事業のひとつとして、小倉南区制45周年を記念して製作した「小倉南区かるた」を使用した「かるた大会」を子どもまつり当日、会場のJRA小倉競馬場で開催することとなりました。また、開催にあたり競技ルールの説明や小倉南区かるたを体験していただく、説明会を実施いたします。

つきましては、より多くの子どもたちに応募していただくため、本事業の告知にご協力いただきますようお願いいたします。

1. 子どもまつり開催日 令和6年9月28日(土) 10:00～16:00
2. 会 場 JRA小倉競馬場（北九州市小倉南区北方四丁目5番1号）
3. 主 催 小倉南区子どもまつり実行委員会
4. 特別協賛 福岡菅公学生服株式会社北九州営業所
5. 参加対象 小倉南区内の小学生以下が所属する団体(要 事前登録)
部門 低学年の部 小学3年生以下
高学年の部 小学4年生から6年生
※ 大会への参加対象者は、市民センターや小学校、学童保育クラブ、児童館、子ども会などの小倉南区に拠点を置く団体単位から選出された小学生で構成されるチームとします。
※ 一団体に同一部門に複数チーム出場することはできません。
※ 同一人物が複数の団体・チームから出場することはできません
6. 開催日時 令和6年9月28日(土) 小倉南区子どもまつり当日 10時30分より
詳細は、別紙参照
7. 募集開始 令和6年5月13日(月)午前10時より 先着 各部門24チーム

※ 大会に出場を希望する団体は、団体登録用紙に必要事項を記入し、小倉南区子どもまつり実行委員会事務局(小倉南区役所コミュニティ支援課内)に提出してください。(FAX もしくは持参)

8. ルール 小倉南区かるた大会競技ルールによる
9. 参加費 無料
10. 表彰 各部門とも 優勝:1チーム 賞状・賞品
準優勝:1チーム 賞状・所品
3位:2チーム 賞状・賞品

11. 競技説明会

- ① 大会に出場もしくは、検討している団体の方(大人)を対象に小倉南区かるた大会の競技ルールやかるたの体験を行う競技説明会を実施します。
- ② 日時 令和6年5月23日(木) 10時~12時
- ③ 会場 若園市民センター (北九州市小倉南区若園四丁目 1-50)
- ④ 参加申し込み 下記の問い合わせ先に電話にて
- ⑤ 定員 30名
- ⑥ 詳細 別紙参照

12. 添付資料

小倉南区かるた大会要項
小倉南区かるた大会チラシ・申込用紙
小倉南区かるた大会競技ルール及び注意事項
小倉南区かるた大会競技説明会開催要項
小倉南区かるた読み札解説

13. その他

- 小倉南区かるたの読み札紹介動画は、小倉南区公式Instagramに掲載しております。
- 小倉南区かるたの読み札音声データや大会要項等は、小倉南区市民センター・まちづくり協議会広報誌サイトからダウンロードできます。
- 小倉南区子どもまつりポスターコンテストの作品募集は、〆切を5月31日(金)まで延長しました。かるた大会の参加団体募集と合わせてご協力ください。



小倉南区子どもまつり
公式Instagram



小倉南区かるた大会の
データは、こちらから
ダウンロードできます

問い合わせ・応募先

小倉南区子どもまつり実行委員会事務局

小倉南区役所コミュニティ支援課生涯学習係内 担当 梶山(係長) 増田(課長)

〒802-8510 北九州市小倉南区若園五丁目1番2号

電話 093-951-4115 FAX 093-951-5507

小倉南区制 50 周年記念 第50回小倉南区子どもまつり 小倉南区かるた大会競技説明会

9月28日(土)、JRA 小倉競馬場で開催する第50回小倉南区子どもまつりは、小倉南区制50周年記念事業の一環として、これまでにない企画を実施します。

そのひとつに区制45周年事業として製作した「小倉南区かるた」を使った「かるた大会」を子どもまつり当日開催します。

小倉南区かるた大会の実施に向けて、参加を検討している団体等(大人)を対象にルールや大会参加方法、運営方法等を伝える説明会を下記のとおり実施します。

記

1. 日時 令和6年5月23日(木) 午前10時～12時
2. 会場 若園市民センター 大会議室・多目的ホール
小倉南区若園四丁目1番50号

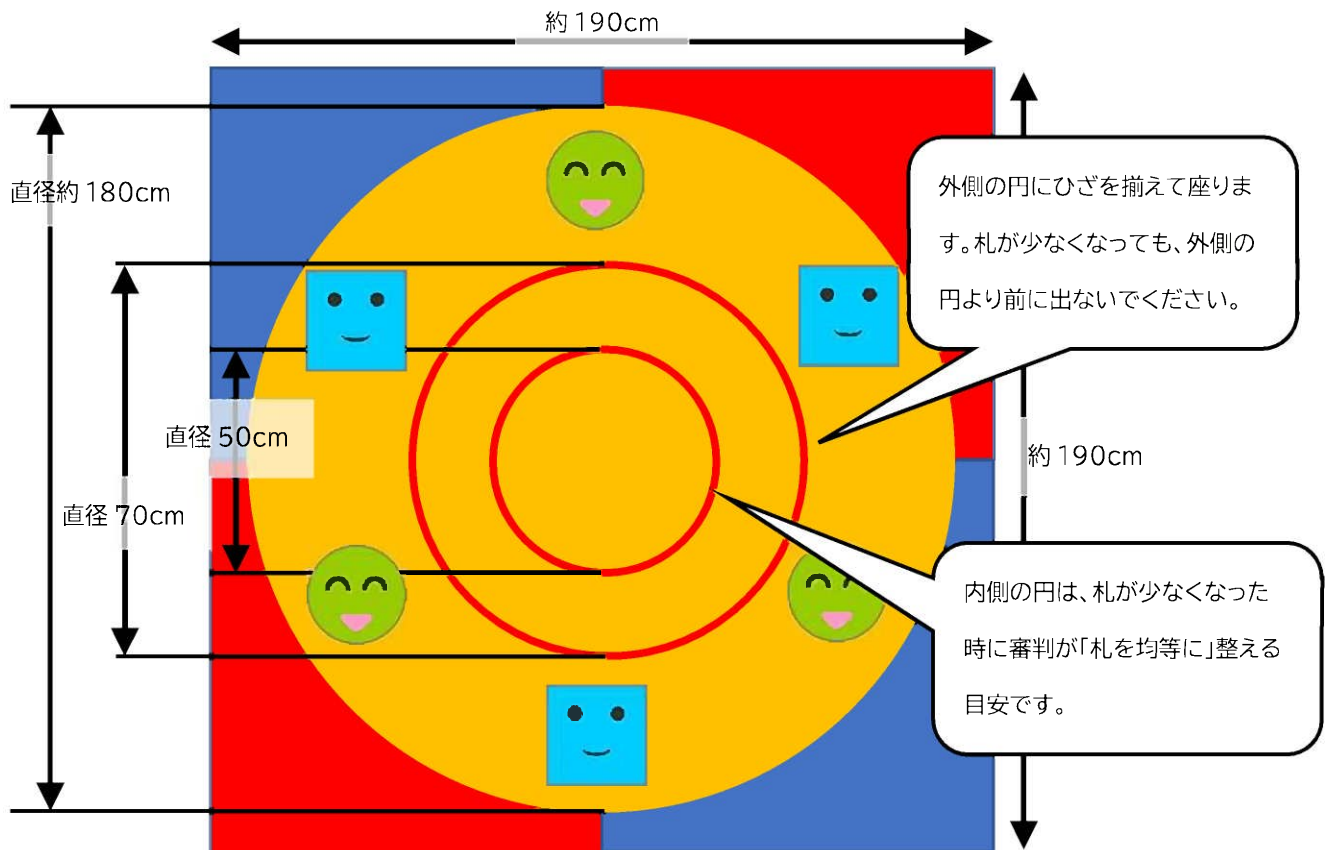
※ 会場の駐車場には、限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。
センターの駐車場が満車の場合、小倉南区役所駐車場をご利用ください。(必ず駐車券をお持ちください)

3. 内容 小倉南区かるたの概要
子どもまつりでの小倉南区かるた大会について
大会への参加方法
大会ルール
大会出場チームへの支援
小倉南区かるたを体験
4. 対象者 小倉南区かるた大会への出場を検討している団体の方
例)市民センター館長・職員、児童館・学童保育職員、子ども会役員 等
5. 定員 30名
6. 申し込み 5月21日(火)までに小倉南区コミュニティ支援課生涯学習係へ電話申し込み
7. 参加費 無料
8. 資料 小倉南区かるた大会要項、競技ルール・注意事項、読み札解説、団体登録用紙
9. お問い合わせ
小倉南区子どもまつり実行委員会事務局(小倉南区コミュニティ支援課)
電話 (093)951-4115 FAX (093)951-5507
担当:前田・岩元・梶山

小倉南区かるた大会競技ルールおよび注意事項

【競技の準備】

1. 試合は、3人一組の団体戦とし、6人二組で行います。
 2. 6人がかるたマット上に円を描いて、自分のチームと対戦相手が交互になるように座ります。
 3. 絵札は、審判員がかるたマット状の直径70cmの外側の円内に広げて並べます。
選手は、読み手が読み札を読み始めるまで、絵札に触れてはいけません。
 4. 選手は、かるたマットにある2つの円のうち「外側の円」にひざを揃えて座ります。
ひざの位置は、試合開始から終了まで外側の円に揃えてください。
絵札が少なくなっても、外側の円より前に座らないでください。
- ※ 直径50cmの内側の円は、絵札が残り20枚になったときに、絵札を均等に並べるための目安です。



【絵札を覚える時間】

5. 絵札を並べた後、試合開始前に1分間で絵札を覚える時間を設けます。

【読み手】

6. 44枚の読み札から出場チーム数や大会時間に応じて、主催者が定めた4枚以上の読み札を抜き、残った枚数の札で勝敗を決めます。(試合が終わると主催者が定めた枚数の絵札が残ります。)
7. 読み句は、それぞれ連続して2回読み上げます。

【試合開始】

8. 試合中の基本姿勢として、両手はひざの上においでください。
かるたマットの外側の円にひざを合わせて座り、ひざより前に「頭」を出してはいけません。
9. 絵札を取るときは、しっかりと手で押さえてください。
百人一首のように絵札を飛ばしても取ったことにはなりません。また、2枚以上の絵札を同時に取ることもできません。
10. お手つきはありません。ただし、わざとお手つきをすることはやめてください。
11. どちらが先に取ったかわからないときは、審判員が判断します。
12. 試合中に選手が絵札の位置を変えてはいけません。
絵札の間にすき間ができたときの並べ替えや残りの絵札が20枚になり内側の円に寄せる作業は、審判員が行います。

【採点方法】

13. 採点は、1枚1点とします。「やく札」は1枚2点とし、「やく札」の読みと枚数は、試合が始まる前に発表します。
試合では、読み札を引き抜きすべての札を読むのではないため、「やく札」が必ず読まれるわけではありません。
14. 採点は、審判員が行います。
15. 同点の場合は、「やく札」が多いほうが勝ちです。

【競技上の注意】

16. 騒がしいと読み手の声が聞こえにくくなります。試合中の私語はやめてください。
17. 悪質な行為(わざとのお手つきや頭をひざより前に出すことを繰り返す等の迷惑行為)には、主審が「イエローカード」を出します。1枚目の「イエローカード」を出された後も悪質な行為が続く場合、「レッドカード」を出します。
「レッドカード」を出された選手は、その時点からその試合に出場することはできません。

小倉南区制 45 周年記念

「小倉南区かるた」製作にあたり

昭和 49 年 4 月 1 日、行政区再編により誕生した小倉南区は、平成 31 年 4 月 1 日をもって 45 周年を迎えました。

この「小倉南区かるた」は、小倉南区制 45 周年記念事業として製作したものです。

製作にあたっては、小倉南区の魅力を発信するとともに、区民の皆さんに小倉南区を愛し、誇りに感じ、いつまでも住み続けたいと思っていただけるよう、区民参加型の「小倉南区かるた」を目指しました。

読み句と取り札の画像は小倉南区の自然や食、歴史、伝統行事、文化、偉人等を題材に広く公募し、6 歳から 94 歳まで、また区内だけではなく区外のたくさんの方から応募いただきました。

この「小倉南区かるた」には、子どもたちが楽しく遊び、その中で小倉南区の魅力や歴史・文化を「学び知る」ことで、より一層「わがまち・小倉南区」を好きになってほしいとの願いも込められています。

そのため、かるた遊びだけでなく、取り札の裏に書かれている説明文も読んでいただきたいと思います。

また、大人の方も小倉南区をぜひ再発見してください。

小倉南区役所

【あ】 安部山の ふもとにそびえる 清麻呂像

和気清麻呂像

安部山のふもとに位置する水神社に和気清麻呂像が建立されている。和気清麻呂は、奈良時代、えん罪により足の筋を切断され、湯川の霊泉で傷を癒したと言われている。かつて 10 円札の肖像人物にも使用された偉人である。

【い】 泉は湧き 繁るガジャモク 糸俣ぶ

ガジャモク

ガジャモクとは、ヒルムシロ科に属する多年生の水生植物。環境省レッドリストでは絶滅危惧種に指定されている。殖芽と呼ばれる栄養を蓄えた地下茎から新しい茎(当年茎)を伸ばして成長し、初夏に水面上に花を咲かせる。西日本で唯一自生しているのは、呼野のお糸池だけである。

【う】 梅の花 三岳梅園 春を呼ぶ

三岳梅林公園

昭和天皇ご成婚記念として、合馬地区の三岳にある護聖寺の茶園だった土地に地元の人々

が、350本の白梅、紅梅を植えたのが始まり、昭和54年に市が借地して開園。花の頃には手作り農産品を売る露店も出て梅見客で賑わう。

【え】 Fスケール 藤田博士の 頭文字

藤田博士

中曽根出身の藤田哲也博士は、アメリカのシカゴ大学で気象学の研究に取り組んだ。特に有名なものは、「Fスケール」の考案、「竜巻の二重構造」や「ダウンバースト」の発見であり、竜巻被害の減少と航空機離着時の事故防止に多大な貢献をした。

【お】 大潮に 間島繋がる 曾根干潟

曾根干潟

曾根干潟は、小倉南区の東側に広がる北九州市最大の干潟で、干潮時には沖合いに約5キロもの広大な干潟が現れる。多種多様な生物が生息し、冬には大陸から渡り取りが飛来する。また、大潮の干潮時には、沖の「間島」まで歩いて渡ることができる。

【か】 かくれみの ワラをかけあう しびきせ祭

しびきせ祭

横代地区の南に位置する隠蓑で行われる「しびきせ祭」は800年続く農耕祭事で「しび」とは藁のことである。源氏から追われていた安徳天皇を、庵寺の屋根の葺き替え中だった村人が、カヤやしび(ワラ)を安徳天皇に被せて隠した伝統に由来している。

【き】 季節織る ソメイヨシノの 昭和池

昭和池

東朽網校区の南西部に位置する昭和池は、周囲2.5キロメートル・面積11.6ヘクタールの池を取り囲むようにソメイヨシノが咲きほこり、「昭和池の千本桜」として親しまれている。池沿いの道は、貫山・水晶山・平尾台方面へ続く林道につながっている。

【く】 貝だくさん 小倉みなみの 肉うどん

肉うどん

小倉南の肉うどんは、挿りおろした生姜を入れて食べるのが特徴。40年近く伝統を守り続けるお店から、努力と研究を重ねて最近オープンしたお店まで10数店舗、地元で根付いて頑張っている。

【け】 けいば場 馬が走るぞ みのがすな

JRA 小倉競馬場

前身は、明治40年に開設された戸畑競馬場。大正8年に三萩野に移転、昭和5年の北方への再移転を経て、現在に至る。3回以上の座席が全面ガラス張りの屋内席となっている。夏と冬の年2回レースが開催される。

【こ】 古墳など 遺跡の多い 吉田地区

吉田古墳群

吉田古墳群は、竹馬川の下流域、周防灘に面した下吉田集落の裏山墓地に広がる古墳時代後期の群集墳である。現在61基が確認されている。

【さ】 桜橋 空一面に こいのぼり

こいのぼりまつり

こいのぼりまつりは、平成16年から青少年の健全育成を願い、広徳・長行両校区の自治連合会によって始まった。すべて家庭で使われなくなったものを寄付いただいたもの。桜橋から眺める約700匹の鯉のぼりの姿は壮観。

【し】 新田の 風鎮汐留 神幸祭

曾根の神幸祭

曾根地区と朽網地区から7台の山車が参加。4月15日から5月3日まで開催され、五穀豊穰、風鎮汐留を祈願する祭り。一台の山車が「提灯山」「幟山」「人形飾山」への三様に変化する形式を持つ祭礼は、市内ではこの祭りのみ。

【す】 健やかに 育てや子らに 尻を振る

井手浦 尻振り祭

春の農作業を始める1月8日、ワラで作った大蛇が、二本の松の木に掲げられ、その大蛇の前に祭壇を設けて、宮司と保存会二人の計三人が、弓矢や幣などを尻に当て、海・山・川の掛け声に合わせて尻を振る。大きく振れば大豊作になると云われていて「もっと振れ、もっと振れ！」と賑わう。

【せ】 千仏の 自然の神秘 鍾乳洞

千仏鍾乳洞

千仏鍾乳洞は平尾台の東南端、標高300メートル付近に位置し、平尾台にある洞窟の中でも最大規模のもので、北東に向かって蛇行しながら約900メートル伸びている。入口には大小約30個の鍾乳石が垂れ下がり見事な景観を呈している。豊富な地下水は、現在も洞窟内部を侵食し続けている。

【そ】 曾根干潟 太古をしのぶ カブトガニ

カブトガニ

カブトガニはクモやサソリなどの鋏角類に属している。過去には瀬戸内海と九州北部の沿岸に広く生息していたが、現在では生息できる沿岸が激減し、ほとんど見るができない。カブトガニは古生代の仲間の風貌を色濃く残した「生きている化石」と呼ばれている。

【た】 帝踏岩 エアーズロックだ 朽網の地

帝踏岩

朽網にある帝踏岩は、一枚岩ではなく四、五個の大きな塊が連なっているもので、中央の岩の上に石碑が建てられている。景行天皇(日本武尊の父)が天皇に刃向かっていた民族を討伐する際、戦勝祈願をこの岩の上でしたのが名前の由来。

【ち】 竹林の 合馬の満月 かぐや姫

合馬

合馬は小倉南区の三谷地区の西谷に位置し、名産品の合馬竹の子や北九州市指定民俗文化財の合馬神楽などが有名である。昭和天皇ご成婚を記念して、紅白の梅の苗木を 350 本植えた三岳梅林公園も、地元青年団の奉仕で今では 1,100 本位増えている。

【つ】 堤守る お糸の献身 忘れまじ

お糸まつり

江戸時代、灌漑用水の不足に悩む呼野の里の堤防工事で人柱となった 14 歳の娘「お糸」を供養するまつり。お糸池での水神祭から始まり、大泉寺での法要やお糸供養踊り、呼野公園では子ども広場が催される。最後に打ち上げられる花火は見事。

【て】 天平の時代に 創建された 綿都美社(龍王社)

綿都美社(龍王社)

天平 6 年(734 年)創建。吉田の中心に位置し、海と風の神様を祭り、地域の産土神として地域の人々に親しまれている。明治維新後に社号を龍王社から綿都美社に改めた。

【と】 図書館は 本がつまった 南区の宝

小倉南図書館

平成 30 年 3 月 30 日にオープンした地区図書館。吹き抜けのエントランスホールや屋上のオープンテラス、隣接の公園との一体感など、開放的な空間が特徴。郷土資料室では、世界的な気象学者、藤田哲也博士の功績が紹介されている。

【な】 夏の日の 思いでたくさん アドベンチャープール

アドベンチャープール

北九州モノレールの企救丘駅の近くに昭和 60 年に開業した総合プール。6 種類のプールがあり、暑い夏の季節には、たくさんの人で賑わう。子どもから大人まで楽しめるレジャースポット。

【に】 にぎやかな 長野緑地の 草スキー

長野緑地

平成 15 年に開設。『人と自然を育む、体験・交流公園』をテーマに、地域の自然や歴史特性を生かし、「体験学習」「健やか交流」「環境保全」の 3 つのゾーンに分け、余暇活動と文化活動の広域交流拠点となるよう整備が進められている公園。

【ぬ】 貫山は 流麗な姿で 企救の富士

貫山

貫山は標高 712 メートルで、国内有数のカルスト台地である北九州国定公園の平尾台の北端に位置する。山頂からは周防灘を見渡すことができ、貫地区のシンボルとして企救富士とも呼ばれている。

【ね】 寝ずの番 石の羊が 煙見て

中谷の竹炭窯

平成 19 年に TOTO 株式会社の水環境基金の助成金で中谷の道原地区に竹炭窯を整備。荒廃した竹林の竹を伐採し、ヒノキやクヌギを植林する荒廃竹林再生事業と、伐採した竹で竹炭を製造、川の浄化や農作物の肥料に活用する竹炭製造の活用を行っている。

【の】 野焼き終え 石の羊が 目を覚ます

平尾台野焼き

平尾台に春を呼ぶ野焼きは、観光客の安全確保や害虫駆除、採草地改良、森林化防止、周辺山林への類焼防止などを目的に実施される。点在する石灰岩が羊の群れのように見える「羊群原」では、野焼きの後、新芽の息吹と未が目を覚ますような様子が伺える。

【は】 ばあちゃんの つくる合馬の たけのこごはん

合馬の竹の子ご飯

北九州市の竹林面積は約 1,500 ヘクタールにわたり、市町村単位では全国有数の広さを誇る。この豊かな竹林資源から美味しい竹の子が生産され、特に「合馬たけのこ」は、極上品として全国で有名。香り、味、歯ごたえとともに、最もおいしいといわれる孟宗竹で作った竹の子ご

飯は絶品。

【ひ】 ひえ田川 うろこかがやく にしき鯉

稗田川

稗田川は竹馬水系の一つで、毎年小中学生を対象に「横代釣り王選手権」が開催されている。横代北町付近では錦鯉も泳いでいて、上流ではホタルも鑑賞できる。

【ふ】 豊前海 一粒かきに ワタリガニ

カニ・カキ

栄養豊富な豊前海で育った「豊前本ガニ」と「豊前海一粒カキ」。「豊前本ガニ」は、産卵期の秋からが旬で、肉質には甘みがあり絶品。「豊前海一粒カキ」は、身入りがよく濃厚で大粒なのが特徴。

【へ】 幣を背に 舞う沼楽の 優雅なり

沼楽

方策と除疫を祈願する太鼓踊りで、半楽形式の 27 人で構成される。12 種類の太鼓踊りが行われ、扮装はカラフルで、手甲脚絆は紺、鉢巻の結び目の両端は赤、腰蓑の下半身は紺、背中の幣は赤白紺の三色切り混ぜ、小幟は真紅となっている。昭和 33 年に福岡県無形民俗文化財に指定。

【ほ】 ホタル飛ぶ 志井の川辺で 夕涼み

志井川

志井川は、貫山を源に志井、企救丘、徳力校区を北流しながら紫川に流入している河川。春には桜、初夏にはホタル、徳力付近では錦鯉も泳いでいて、地域住民の癒しの場となっている。

【ま】 丸い葉の 大葉しゅんぎく ヘルシーだ

大葉しゅんぎく

採れたての「大葉しゅんぎく」は北九州でしか食べられないヘルシー野菜。葉のきざみがなく丸い葉が特徴で、やわらかく、アクが少なく、やさしい味。小倉南区で生産され、鍋はもちろん、生のままサラダにしても美味しく食べられる。

【み】 南区の 祭りといったら まつりみなみ

まつりみなみ

昭和 49 年、小倉南区発足を祈念して「小倉南民踊の夕べ」として始まった夏の一大イベント。「区民総参加」をスローガンに区民みんなでつくり、楽しむお祭りで、会場は志井公園。祭りの最

後を島くくる 2,000 人規模の「総踊り」と約 1,000 発の「花火」は圧巻。

【む】 紫川の 川のみなもと ますぶちダム

ますぶちダム

洪水調節、干害、上水道用水として作られた多目的ダムで、総貯水量は 1,360 万立方メートルの重力式コンクリートダム。周辺は緑の山々に囲まれ、登山、サイクリングなど、アウトドアに最適。ダムをぐるりと囲んだサイクリングロードは一周 10.3 キロメートルある。

【め】 眼鏡橋 匠の技が 光る石

春吉の眼鏡橋

大正 8 年に春吉の人々が寄付を出し合って建築した石造二連アーチ橋。橋のたもとの石碑には、春吉 58 人の寄付署名と寄付金額、石工の名前などが刻まれている。石材にはひん岩、輝緑凝灰岩など紫川の石が使用されている

【も】 モノレール 銀河鉄道 999

北九州モノレール

昭和 60 年に日本で初の跨座式モノレールとして開業。小倉駅と企救丘駅 8.8 キロメートルを 19 分で結び、昭和 55 年に廃止された路面電車・西鉄北方線の代替え機能も担っている。

【や】 山本の 漬物名人 今年こそ

漬物コンクール

漬物をつけている家庭が多い、中谷地区の山本で、開催されていたコンクールを平成 17 年度から中谷地区全体で開催している。来場者が審査員となり漬物名人を決定。同時開催の「漬物漬け方講座」は漬物歴半世紀以上の名人が漬け方を伝授し、中谷地区の味を伝承している。

【ゆ】 夢を乗せ 未来に飛び立つ 一番機

北九州空港

平成 18 年 3 月、旧北九州空港が移転し、開港。同年 8 月には、九州で初めてとなる 24 時間運用を開始。3 階展望デッキに隣接する足湯(有料)は、雄大な展望を同時に楽しむリラクゼーションスポットとなっている。

【よ】 横代の 農事センター ばらいっぱい

北九州市立総合農事センター

昭和 48 年に農業への新しい技術の導入と、営農問題の解決に指導的な役割を果たす施設として設置。約 70 品種 2,000 株を誇るバラ園や憩いの森、動物とのふれあい広場など、自

然と触れ合える施設となっている。

【ら】 ランドセル プチポザウルス 一年生

プチポザウルス

平成 15 年に誕生した“ちっちゃなボランティア活動”を応援する恐竜で北九州市社会福祉協議会のキャラクター。毎年、歳末助け合い運動募金の助成を受けて、小倉南区の社会福祉協議会が新小学一年生に贈っている黄色いランドセルカバーのデザインとなっている。

【り】 リラックス 菅生の滝で 深呼吸

菅生の滝

紫川の上流、道原の国有地内にある滝で、落差は市内で最大、上部の滝が最も高く、落差が約 30 メートルある。地名の「菅生」は、滝のしぶきで女性の化粧が落ちて「素顔」になることが由来!?

【る】 瑠璃色の 夜空に映える ふゆはなび

ふゆはなび

平成 21 年あら毎年、バレンタインデーに合わせて行われるイベント。心温める平尾台の冬の風物詩。音楽と花火・レーザー光線による幻想的な花火ショーが楽しめる。

【れ】 歴史ある 蒲生八幡 大鳥居

蒲生八幡神社

本殿、幣殿は、市内で最古級の神社建築。拝殿は池や石段と併せて明治後期に整備された社殿軍の様相をよく伝えている。本殿、幣殿、拝殿が独立して建つ社殿配置は、旧豊前地域に比較的多く見られる。平成 23 年に北九州市有形文化財に指定。

【ろ】 老若で 合馬の伝統 神楽舞い

合馬神楽

享保年間(1716～1763 年)合馬村に飢饉・悪疫が続き、大野八幡の神官の祈願で悪疫が治まったお礼に村人が他所から神楽を招いて合馬天疫神社に奉納したことが始まり。京都郡系神楽で舞振りの流麗さを特徴としている。現在は 16 番で約 2 時間の舞い。昭和 53 年に北九州市無形民俗文化財に指定。

【わ】 和牛なら 我らの自慢 小倉牛

小倉牛

小倉牛は黒毛の和牛で、鮮やかな霜降り、美しい色とツヤ、厳しい肉質検査を経て厳選したも

のだけに「小倉牛」のブランドが与えられる。旨みたっぷりの肉汁、舌の上でとろけるような柔らかさ、きめ細やかな絶妙な感触が、小倉牛の特徴。

小倉南区制 50 周年 第 50 回小倉南区子どもまつり

「小倉南区かるた大会」 募集要項

1. 大会名 小倉南区かるた大会
2. 趣旨 小倉南区制 50 周年及び第 50 回を迎える小倉南区子どもまつりの開催を記念して「小倉南区かるた大会」を開催する。
大会には、小倉南区制 45 周年記念に作成した「小倉南区かるた」を使用することで、小倉南区の魅力や歴史・文化を学び・知るとともに小倉南区を愛し、誇りに感じ、いつまでも住み続けたいと感じてもらうことを目的とする。
3. 主催 小倉南区子どもまつり実行委員会
4. 運営 小倉南区生涯学習推進コーディネーターを中心に運営(予定)
5. 協賛 福岡菅公学生服株式会社北九州営業所
6. 日時 小倉南区子どもまつり当日 令和6年9月28日(土)

選手受付	10:30～
予選リンク戦	10:50～
決勝トーナメント	13:00～
表彰式	14:30～
7. 会場 JRA 小倉競馬場 1 階
8. 部門
 - ① 低学年の部 小学3年生以下
 - ② 高学年の部 小学4年生から6年生

※ 低学年と高学年の児童でチームを組む場合、高学年の部での参加となります
9. 参加方法 小倉南区内の小学生が所属する団体(要 事前団体登録)から各部門 1 チーム

※ 市民センターや小学校、学童保育クラブ、児童館、子ども会などの小倉南区に拠点を置く団体単位から選出された小学生で構成されるチーム

※ 一団体で同一部門に複数チーム出場することはできません。

※ 同一人物が複数の団体・チームから出場することはできません。

※ 出場選手名簿は、当日提出してください。

※ 参加無料
10. ルール 小倉南区かるた大会競技ルールによる (別紙参照)

11.参加チーム 各部門とも最大 24 チーム(1 チーム 3～6 名、試合出場は 3 名)

12.大会方式

44 枚の読み札中、主催者が定めた枚数の読み札を読み、相手より多く取ったチームを勝ちとする。

3 チームによる予選リンク戦を行ったのち 1 位チームによる決勝トーナメント戦を実施

13.表彰	各部門とも	優勝 1 チーム	賞状・賞品
		準優勝 1 チーム	賞状・賞品
		3 位 2 チーム	賞状・賞品

14.団体登録 令和 6 年 5 月 13 日(月) 午前10時より登録受付開始 先着 24 団体
大会に出場を希望する団体は、団体登録用紙に必要事項を記入し、小倉南区子どもまつり実行委員会事務局(小倉南区役所コミュニティ支援課内)に提出(FAX もしくは持参)

15.説明会 大会出場を検討している団体を対象に競技ルール等の説明会を実施する。

- ① 日時 令和 6 年 5 月 23 日(木) 10:00～12:00
- ② 会場 若園市民センター
- ③ 内容 小倉南区かるたの概要
小倉南区かるた大会の競技ルール等の説明
小倉南区かるたの体験
- ④ 対象 大会出場を検討している団体の方(大人)
- ⑤ 定員 20 名程度
- ⑥ 申込 小倉南区コミュニティ支援課へ電話で申し込み

16.問い合わせ、説明会・団体登録申し込み先

小倉南区子どもまつり実行委員会事務局
小倉南区役所コミュニティ支援課生涯学習係
電話 093-951-4115 担当:岩元・前田・梶山